

団体名	林田にタガメの里をつくる会		
団体の所在地	姫路市	代表者名	市川 憲平

1. 事業名	夢前川水系における絶滅危惧種トゲナベブタムシの生態調査と地域への啓発
2. 実施期間	平成23年4月1日～平成24年2月29日
3. 主な実施場所	夢前川支流の菅生川右岸の農業用水路と菅生川、夢前川本流
4. 活動形態	調査活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>試験中、試験前の時期を除いて、姫路飾西高校自然科学部生徒4～5人が週に一度水路の調査を行った。林田にタガメの里をつくる会の市川が、毎月1回生徒らの調査に参加して、指導した。生徒らは、指導教諭とともに、本流での調査も夏から秋にかけて数回行った。林田にタガメの里をつくる会の会員は、月に1回5～6人で水路と本流の調査を行った。</p> <p>7月31日と8月9日には、水路の状況と比較するために三田市に行き、武庫川上流での調査を行った。</p> <p>調査結果を広報するために、8月7日に青少年のための科学の祭典姫路会場で発表した。また、11月26日には中播磨環境交流会議で、2月19日には兵庫陸水生生物研究会平成23年度総会でスライド発表を行った。</p> <p>啓発活動として、ちらしを3000枚つくり、近隣の公民館や市役所の出張所などに置かせてもらった。</p>
6. 成果・反響・反省点等	<p>三面コンクリート製の水路に、なぜこれほど多くの絶滅危惧種が生息しているのかという謎を解明することが一つの目的だった。解明にはまだ数年かかると思われるが、水路でのこの水生昆虫の生態が少しずつ明らかになってきた。</p> <p>科学の祭典や中播磨環境交流会議で発表することで、自然科学部の活動やトゲナベブタムシについて関心を持つ人が増えた。</p> <p>地域の拠点にちらしを置かせてもらうことにより、地域の多くの人たちがこの虫やその保全に関心を持ってくれることを希望して、来年度以降もこの調査を続けたい。</p>
7. 成果物	なし
8. 活動写真	 <p>水路での調査      菅生川本流での調査      トゲナベブタムシ</p>